

# すげいね♪ あだちの こどもたち

VOL.  
28

ヘアドネーション事業を行う  
団体が寄付者に対して発行  
する「髪の毛を確かに受け  
取りました」という受領証



## ヘアドネーション\*活動への参加

西新井第二小学校 (当時3年生)

いしだ みふ  
石田 美歩 さん

### 夏休み最後の日

5年間伸ばした髪の毛を切りに美容院へ行きました。10分もかからずに切り終わり、「髪の毛の短い姿は自分じゃないみたいだった」と石田さんは振り返ります。

ヘアドネーションのことは、お母さんがSNSを通して知りました。髪を洗うことと乾かすのはとても大変でしたが、「ただ捨ててしまうだけの髪の毛がウィッグとして生まれ変わるなら」と思い、寄付基準の31cmになるまでお母さんと一緒に丁寧にヘアケアをして過ごしました。

#### ※ヘアドネーション

髪の毛を寄付すること。寄付された髪の毛は、病気の治療などによる髪の毛の悩みを抱える子どもたちの医療用ウィッグとして生まれ変わります。

### 次の人のきっかけに

「誰かの役に立ったのか、それはまだ実感がわからない」と正直に話す石田さん。それでも周りの友だちが、「髪の毛の長さ、測ってみようかなと興味をもってもらえたら嬉しい」と気持ちを打ち明けてくれました。

お母さんと美容関係の動画を見てからメイクにも関心をもちました。「将来はヘアメイクアップアーティストになりたい。誰かのヘアドネーションをする髪の毛を切りたい」。たくさんの経験をしながら夢に向かって歩いていきます。

### ▼髪を切る直前の様子



▲  
長い髪の毛をお母さんがヘアアレンジをしてまとめていました。



ヘアドネーションに興味をもった方はこちらから  
ジャーダック  
NPO法人 JHD&C



## 令和元年度 第50回 東京都中学校音楽創作コンクール

優良賞受賞 第九中学校 (当時3年生)

わだ しおり  
和田 志織 さん

### 無かったら作ってしまおう!

初めて作曲をしたのは中学1年生のとき。3年生を送る会で、吹奏楽部の同級生と一緒に自分たちの伝えたい思いを歌詞にしたオリジナル曲をプレゼントすることになりました。音符で書かれていない音をピアノで探し、自然な旋律を見つけ出す作業に苦労しました。タイトルは「先輩方のようにかっこいい姿を目指します」という誓いをこめて、「約束」と決めました。

普段からオリジナルの曲を歌うことが好きで、作曲に関心のあった和田さん。コンテストの存在を知り、プレゼントした曲に伴奏をつけるため和音をつくる技法を学ぶなど努力を重ね、優良賞を受賞しました。

### 気持ちをひとつにするために

吹奏楽部では部長を務めました。部活動でのモットーは、「周りをよく診て、聴いて、考えて行動すること」。この言葉を大切に、「常に自分がすべき行動はなにかを考えて取り組んできた」と力強く話してくれました。

自分たちの思い通りの演奏ができないときは、「みんなの意見を共有するために、本音で話し合う場をつくり、気持ちを切り替えて練習ができるよう行動しました」と振り返ります。

「将来は、音楽に携わる職業に就きたい。プロの演奏者や作曲家に憧れます」。周りを思いやる心を忘れず、進学先の吹奏楽部でもすてきな音を奏でます。

◀吹奏楽部のコンサートで「約束」を演奏しました。



コンクール上位作品を  
▼取めた作品集に楽譜が  
掲載されました。



#### information

すげいね! あだちのこどもたち 学校支援課 庶務係 ☎ 3880-5961

「あだち教育だより」にご意見・ご感想をお寄せください。

8 足立区教育委員会事務局 学校支援課 ☎ 3880-5961 E-mail: kyoshokuin@city.adachi.tokyo.jp